



一般社団法人日本物流団体連合会
Japan Association for Logistics and Transport

News Release

〒100-0013
東京都千代田区霞が関 3 丁目 3 番 3 号
全日通霞が関ビル 5 階
TEL: 03-3593-0139
FAX: 03-3593-0138
URL: www.butsuryu.or.jp

令和 7 年 3 月 6 日

令和 6 年度 第 2 回経営効率化委員会を開催

～ 自動運転トラック技術による完全無人運送サービスの実現についての講演会を開催、
委員会にて今後の先進技術の活用促進へ向けた取り組みについて協議しました ～

(一社) 日本物流団体連合会 (略称: 物流連) は、3 月 3 日(月)、千代田区的全日通霞が関ビル会議室において、令和 6 年度 第 2 回経営効率化委員会 (委員長: 外山俊明氏 ANA ホールディングス(株) 顧問 兼 (株)ANA Cargo 代表取締役会長) を開催しました。

この「経営効率化委員会」は、物流業において経営上のリスクとなる問題について調査検討を行っており、労働生産性の向上、ダイバーシティ推進や危機管理など、テーマごとに適宜小委員会等を設置して調査を行うとともに、国の施策について情報提供等を行うため設置しているものです。

第一部の講演会には、会員団体・企業などからオンラインを含めて約 80 名が参加し、講師の(株)T2 代表取締役 CEO 森本成城氏より「Level 4 自動運転トラックを活用した物流サービスの実現へ向けて ～完全無人運送サービス実現の見通し～」と題した講演が行われました。

講演では、各種幹線輸送サービスの実証実験の進捗状況や自動運転の技術的な課題、そして 2027 年 10 月の Level 4 (特定条件下での完全無人運転) 移行へ向けたマイルストーン等について解説していただいたほか、同社の事業ビジョンとして、自動運転技術の活用により物流における社会課題の解決に向け物流事業者や荷主企業などと“共に”日本の物流を支えていく、との強い信念やそれを社内全体に浸透させるためのマネジメントなどについても詳しくお話していただき、会場で受講した委員全員がその熱い想いに引き込まれると同時に、今後物流業界が一丸となって先進技術のさらなる活用促進へ向けて取り組んでいく、という強い気持ちを共有しました。

引き続き行われた第二部の委員会には 27 名が参加し、「令和 6 年度 下期活動報告」として

1. 障がい者活躍推進ワーキングチーム(ダイバーシティ推進)
 2. 施設見学会
 3. 「官民物流標準化懇談会」および「モーダルシフト推進・標準化分科会」への参画
- の 3 点の活動状況について事務局より報告しました。

続いて「令和7年度 活動計画(案)」について

1. 障がい者の活躍推進に関する調査検討（ダイバーシティ推進）
2. 「先進技術の活用」、「物流デジタル化」等に関する検討、および施設見学会の実施
3. 「官民物流標準化懇談会」および分科会等への参画

の3点を実施していく案が事務局より示され、原案通り承認されました。

最後に、物流業界における先進技術の活用を今後さらに促進していくため、経営効率化委員会として来年度以降実施していく取り組みについて委員メンバーで自由に意見交換を行いました。

外山委員長を中心に、オンライン出席した委員も含め、多くの委員より様々な視点から多くの意見やアイデアが飛び交い、大変活気のあるものとなりました。

今後も物流連は、本委員会の活動を通じ、物流業界の労働力不足、生産性向上を目指した取り組みを実施してまいります。

以 上
事務局 中野



講師 森本成城氏



外山委員長



経営効率化委員会風景